

今回の福井新聞「こども記者活動」は11月10日、オープンしたばかりの県年縞博物館(若狭町)を訪れます。三方五湖の中で最も大きな水月湖の底に、約7万年にわたって積み重なった縞模様の堆積物「年縞」。年縞の発見は「世界の歴史」年縞の発見は「世界の歴史」

史の教科書を書きかえる大事件とも言われました。世界の研究者から注目を集める水月湖の奇跡を取材しましょう。9月に開館した年縞博物館のメイン展示物は、連続した年縞では世界一の長さを誇る7万年分の実物標本で、長さ

年縞 すごさ探ろう!



45以上に及びます。ステンドグラスのように並べ、縞模様の変化などから、自然災害や水月湖の環境の変化が分かります。また、年縞の花粉調査などによって明らかになった大昔の気候のイメージ映像を見ることが出来ます。当日は、学芸員の案内で館内を見学し、展示物について話を聞きます。化石や遺跡の年代を測定する世界標準の「ものさし」といわれる年縞について学びましょう。体験コーナーでは、縄文士水月湖の約7万年分の年縞がずらりと並んだ展示(若狭町鳥浜の県年縞博物館(柿木孝介撮影))

来月10日 こども記者活動



若狭町の博物館突撃

活動に参加するには、こども記者への登録が必要です。登録は①名前(ふりがな)②性別③学校・学年④保護者の名前⑤郵便番号、住所⑥電話番号(携帯電話も)・メールアドレスを明記し、メールで申し込んでください。県内の小学4年～中学3年なら誰でも登録できます。

こども記者に登録済みの場合、参加申し込みは名前と学校・学年のみでOKです。締め切りは10月29日。応募多数の時は抽選になります。申し込み、問い合わせは福井新聞「こども記者係」=メールnie@fukuishimbun.co.jp

定員6人、参加募る

器やナウマンゾウの年代を実際に測定。学芸員の方へインタビューし、年縞研究の大変さや面白さについて話を聞いてみましょう。今回の活動は若狭町鳥浜の県年縞博物館に午前9時までに集合し、正午ごろに解散予定です。こども記者の定員は6人。参加無料です。(宇野和宏)